

博士後期課程イノベーション・マネジメント・プログラム

Q & A

<プログラムの概要について>

Q. 博士後期課程のイノベーション・マネジメント・プログラムと研究者養成コースにはどのような違いがありますか？

A. 人材養成の目的が大きく異なります。博士後期課程研究者養成コースは、大学や研究機関における経営・マーケティング・会計・金融等を専門とする研究者の養成を目的としています。このため、演習による博士論文の研究指導を中心としたカリキュラムの設計になっています。

これに対して、博士後期課程イノベーション・マネジメント・プログラムは、民間企業において技術職に従事する経営幹部候補者や、技術職のキャリアを歩み将来経営人材として活躍を目指す方など、理工系のバックグラウンドを有するミドル層（主に30歳代から40歳代の役職者）を主な対象として、技術を企業成長や事業戦略に結びつけることのできる高度経営人材や高度経営専門職の育成を目的としています。このため、博士後期課程1年次から2年次前半にかけて経営学修士コース経営管理プログラムの講義科目を集中的に履修することにより、経営管理全般の知識を早期に習得するとともに、本プログラム専用の演習と講義を履修し博士論文を執筆するように設計されています。

なお、博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムは、ファイナンス分野における実務上の問題解決のために先端的な研究の知識とスキルを備えた研究者や実務家を養成することを目的としており、演習による博士論文の研究指導を中心としたカリキュラムになっています。

これら博士後期課程プログラムのキャンパス、開講時間、学位、修了要件などの差異については、以下の比較表をご参照ください。

	博士後期課程 イノベーション・マネジメント・ プログラム	博士後期課程 研究者養成コース	博士後期課程 金融戦略・経営財務 プログラム
キャンパス	千代田	国立	千代田
開講時間	平日夜間 (一部の集中講義は土曜)	平日昼間	平日夜間・土曜
学位	博士(経営)	博士(商学)	博士(経営)「金融戦略・ 経営財務Ph.D.」
プログラム 修了証	あり	なし	なし
修了要件	3年以上在学し、講義16単位以上(博士後期課程イノベーション・マネジメント・プログラム開設科目から2単位以上、本研究科経営学修士コース経営管理プログラム開設科目から14単位以上(必修4科目8単位を含む))、演習18単位以上、合計34単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。	3年以上在学し、研究者養成コースの講義2単位以上、演習18単位以上、合計20単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。	3年以上在学し、演習12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、学位論文提出資格審査に合格した上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

Q. イノベーション・マネジメント・プログラムの標準的な履修科目のパターンを教えてください。

A. 本プログラムのウェブサイト (<https://www.sba.hub.hit-u.ac.jp/imp/>) に履修モデルを掲載していますので、ご参照ください。

<講義について>

Q. イノベーション・マネジメント・プログラムの講義科目を教えてください。

A. 募集要項に主な開講予定科目を掲載していますので、ご参照ください。

Q. 演習指導教員を希望することはできますか？

A. 本プログラムには専用の演習を開設していますので、演習指導教員を選ぶことはできません。この演習は本プログラムに所属する学生に限定されており、技術経営やイノベーション領域を専門とする経営管理専攻の専任教員が、学生各人の研究テーマや研究計画に基づいて博士論文の執筆を指導します。

Q. 週に何日程度通学する必要がありますか？

A. 本プログラムの講義科目と演習は、平日夜間（一部の集中講義は土曜日）に開講されています。本プログラムにおいては、博士後期課程1年次から2年次夏学期までに（入学後1年半のうちに）、プログラムの修了要件に規定された講義科目の単位を全て修得するため、平日週4日程度（少なくとも週3日）通学する必要があります。講義科目の単位修得後は、週1～2日程度通学することが想定されています。本プログラムの履修に際しては、入学前に勤務先の上司や同僚の方々の理解を得ておくようにしてください。

Q. 演習以外の講義科目も少人数で行われますか？

A. 本プログラム専用の演習・講義科目は少人数ですが、それ以外の講義科目は経営学修士コース経営管理プログラムの学生（1学年50名程度）との共修となります。

Q. 博士後期課程研究者養成コースの講義科目を履修することはできますか？

A. 本プログラムに所属する学生は、必要に応じて国立キャンパスの研究者養成コースの授業科目（平日昼間開講）や他の研究科の授業科目を履修することも可能です。ただし、これらの科目は、本プログラムの修了要件に規定する修得単位には算入できません。なお、本プログラムは博士後期課程の特別プログラムであることから、研究者養成コースの学生の履修は認めておりません。

Q. 博士後期課程2年次夏学期まで（入学後1年半以内）に、プログラム修了に必要な講義科目の単位数を修得できない場合にはどのようになりますか？

A. 本プログラムは、経営管理全般の知識を早期に習得したうえで博士論文を執筆するように設計されているため、2年次夏学期までに（入学後1年半のうちに）講義科目16単位

を修得することを、2年次11月末の学位論文計画書（プロポーザル）の提出要件としています。博士論文の提出は最短でプロポーザル提出から1年後（3年次1月）となりますので、講義科目の単位修得が遅れる場合は、プロポーザルと博士論文の提出時期も遅れることとなります。

Q. 他大学のビジネススクールで MBA を取得しました。本プログラムにおいて経営学修士コース経営管理プログラムの講義科目を履修しなくてもよいですか？

A. 他大学で MBA を取得している場合も、経営学修士コース経営管理プログラムの講義科目を履修し、本プログラム修了に必要な単位数を修得する必要があります。

<出願について>

Q. 定員が「若干名」とありますが、何名程度を想定していますか？

A. 本プログラムでは博士論文の研究指導を丁寧に行うために、履修者数を少人数に限定しています。過去3年間の入学試験の合格実績は、2019年度が出願者数9人に対して合格者数2人、2020年度が出願者数6人に対して合格者数1人、2021年度が出願者数16人に対して合格者数2人です。

Q. イノベーション・マネジメント・プログラムと研究者養成コースの入学試験を両方とも受験すること（併願受験）はできますか？

A. この2つは同時期に実施されるため、併願受験はできません。

Q. MBA（経営学修士）や MOT（技術経営修士）の学位を有していますが、理工系の大学院修士課程を修了していません。出願することはできますか？

A. 募集要項に記載されている出願資格を満たしていれば、出願することは可能です。ただし、本プログラムは理工系のバックグラウンドを有するミドル層の方々を主たる対象として設計されていることから、これまでに大学院での研究経験や企業での勤務経験において学会発表や学術論文の実績があるなど、理工系分野における一定の研究能力を有していることが期待されています。

Q. 出願前に本プログラムの担当教員と面談する必要はありますか？

A. 出願前に面談を実施いただく必要はありません。入学希望者説明会を例年11月下旬に開催していますが、本年度の開催日程等が決定次第ホームページにてご案内します。

以 上